



# 地域防災活動

## 自助・共助・公助とは

災害に対する予防・応急対応、復旧・復興には、市民の皆様と行政機関等がそれぞれ役割を果たし、協力・連携して対策に当たることが大切です。特に被害を最小限に抑えるためには「自助・共助・公助」の効果的な組み合わせが重要です。

### 自助

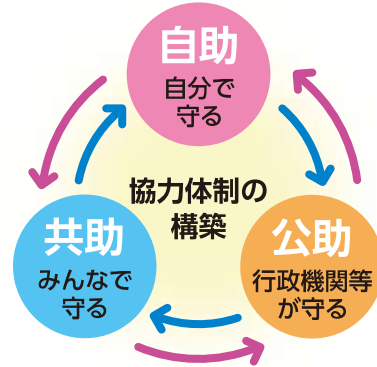
飲料水、食料等の備蓄、防災知識や技術の習得、危険回避のための自主避難など、普段からの災害に対する準備。

### 共助

自主防災組織の結成、活動の促進、訓練への参加、相互協力体制の推進。地区防災計画の策定。

### 公助

行政機関(市、府、国、消防、警察、自衛隊など)の活動。各機関とも災害の発生からできるだけ早く応急対応活動にあたるよう備えています。



自助・共助・公助の連携が必要です

## 自主防災組織の協力

### ● 自主防災組織とは

地域住民が連携し自主的に防災活動を行う組織のことをいいます。

### ● 平常時の活動

- ① 防災知識の普及啓発
- ② 防災訓練や地域の防災安全点検の実施
- ③ 防災資機材の備蓄

### ● 災害時の活動

- ① 地域住民への避難の呼びかけ・誘導
- ② 負傷者の救出・救護
- ③ 初期消火活動
- ④ 避難所の運営



### 高齢者・病人



あらかじめ支援者を決め、複数人で対応し、車いすや担架を使うほか緊急時はおぶって避難する。

### 目の不自由な人



まずは声をかけ、誘導するときは、腕を貸してゆっくりと歩く。できるだけ状況を言葉にして伝える。

### 耳の不自由な人



お互いに顔が向き合う形で、大きく口を動かし話しかける。伝わりにくい場合は身ぶり、筆談により伝える。

### 知的障がいのある人



声かけをし、落ち着かせる。状況の理解が難しい場合は、手を引くなどして誘導する。

### 車いす利用者



階段では2人以上で援助し、上りは前向き、下りは後ろ向きに移動する。ひとりの時はおんぶして避難。

### 早めの避難を



避難行動要支援者は避難所までの移動に時間がかかるので、早めに避難をさせましょう。